両動線スペースとしても利用

#### 1配置計画



#### ■9年間「母校の環境」に関心を持ち続けるために

# 1.太陽、大空、森に抱かれ、夢と志を育む

1) 感性: 先人が日本庭園で試みた「自然との接し方」から学ぶ 1) 校舎,屋内運動場、グラウンドの有効な配置

①「遠景」を象徴的に見せ、 自然の移ろいを感じやすく させる、我が国の誇れる 造園手法を参考に**クラス** ルームからグラウンド越し の「太陽・大空・森」が、 **より美しく見える**ように。



<写 1-1.> された池越しに「遠 景」を際立たせ、季 節ごとの情景を豊か こ感じ取る手法/**桂** 離宮:月見台を張り 出して岸辺の回遊路 を隠し、池と森のみ を象徴的に見せる

#### 2) 知性と健康:太陽の恵みを享受する

- ①「**真南」を向く**クラスルーム。 クラスルームの日当たりそのものが**理科教** 材。太陽の変化を日常的に観察可能。壁面日時計などを考えるワー クショップを提案(子どもたちのアイデアを引き出し、設計に取り込む)
- ②南からの陽光、渡る風にこだわります。 明るく、さわやかで健康的な教 育環境の基盤をつくり、 1人1人の輝く活力を育みます。

#### 2.地域とともに歩む学校づくりに弾みをつける(提案)

①身近な環境をフィールドワークし、②てつがく対話で話し合い、③気づ いた関心事を**図書館で調べる「地域創生ワークショップ」**。 今回のプ ロジェクトはその成果が大いに期待できます。 設計・工事期間を通し

ての実践を提案します。

#### 〈参考:右記録写真〉 K市図書館・児童センター

来年3月開館予定(施工中)。 ①~④開館後の活動を試行し、

K市の将来を担う子どもたちの自 主性を引き出しつつ、関係者間 の意識を高めるワークショップ。 小 中学生混成チーム「てつがく探検 隊」記録 (4 回目は 11/5 予定): 🌃 見慣れた自然環境を、本業務 予定・生態学者が解説。気づ いたことを皆で話し合い、それぞれ 関心の高まったことを図書館で調 べる。地域創生拠点づくりをめざ す目的 / ⑤ ⑥ **色への関心を高** めるコラージュ・ワークショップ。











### ■敷地の特長を活かした「配置計画」

#### 1. 合理的で明快な 敷地利用計画

①グラウンドを桂離宮月見台に見立た 感性を育む「南向き」校舎 ②のびのびとしたグラウンドを南側にまとめます。 南外周部は 「緑陰の 散策路」、ふれあいや森の観察もできる案内板の設置も提案します。

#### 2) 北外周部に車両動線・駐車スペースを整備(歩車分離)

①「アプローチ路」: 昇降口 前のロータリー、スクールバ ス待機・駐車スペースを外 周路沿線に。

②建物周りの「外周路」: 給食搬出入・メンテナンス、 災害時動線。新校舎・屋 内運動場建設時の工事車 両動線スペースとして利用。



### 2.安心安全な動線確保・柔軟性のある将来展望

## 1)新校舎と既存施設との 動線確保

(工事中の明快な区分)

1)**工事車両出入口**:敷地出入 口が東面のみのため、 工事ゲー ト入口に警備員を常駐

②工事範囲:工事期間中のエリ ア・動線を明快に区分。

③児童生徒動線:(既存校舎ま たは新校舎⇔既存屋内運動場 等)を仮設渡り廊下で連結

4)工事専用動線:児童・生徒 動線との分離が大前提に

5**工事期間の短縮** : 外周路ス ペースの工事車両動線を利用 し、新屋内運動場建設時、 既存屋内運動場解体時に新校 舎廻りの外構工事が可能

◀児童生徒入口 ◀ 工事車両口 新設工事 💯 解体工事 🎆工事範囲(仮囲い)





定・外周路スペース 既存屋内運動場と並行

1-4.>建替え計画 STEP 5 外構・グラウント

を工事動線として利用 して仮設渡り廊下を解体



#### 2) 将来の各施設機能,施設需要等の変動に応じた,配置変更計画

①教室群+屋内運動場=4棟に分節。すべてが外周路に接し、児童生徒動線と分離 できるので、各棟の単独工事や切り離した別用途の運用も可能にしています。

#### 3)将来の教室数の増減への対応

①少人数教室を2学年に1室ずつ用意、およびテラスに屋根を掛けることによっても教室増 に対応できます。

